



令和6年度 第1回接続期教育研修

「やってみたい！が生まれる保育・教育をつなぐ」

～主体的な学びを保障する幼保小接続のあり方を探る～

日時：令和6年5月31日（金）15：00～16：30

会場：足立区生涯学習センター

講師：國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科

教授 吉永 安里 氏



遊びは学び 学びは遊び

「やってみたい」から始まる「学びの芽」を育む

園での子どもたちは、遊びを通して感じたり、気付いたり、不思議に思ったことを調べたり、友達と協力するなどして様々なことを学んでいる。**園での遊びは、生きる力の基礎となる「学びの芽」を育むためにとても重要**である。

行動していなくても「やってみたい!」の思いを秘めていたり、失敗してもまたチャレンジをしたり、様々な経験を積み重ねることで、問題を解決しようとする力やコミュニケーションを図る力などを育てている。

幼児教育において育みたい資質・能力(3つの柱)

知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

(気付いたり、できるようになったりすること など) (考えたり、工夫したりすること など)

学びに向かう力・人間性等

(よりよい生活を営もうとする等)



幼児教育と学校教育がつながるってどういうこと?

幼児教育



架 け 橋 期



小学校教育



「遊びを通した学び」と「各教科などにおける学び」のつながり

「学びの芽」が生まれたり、伸びたりするためには、先生と子どもたちの関わりや工夫が重要である

生活科
どんぐり拾いや
落ち葉遊び

国語
友達との対話の経験
⇒話す、聞く学習

算数
積み木遊び等の経験
⇒図形の学習



スタートカリキュラムから架け橋期のカリキュラムへ

小学校との接続の状況

ステップ0

連携の予定・計画がまだ無い

ステップ1

連携・接続に着手したいが、まだ検討中

ステップ2

年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない

スタートカリキュラムが終わってから、どのように授業を展開すればいいの?



幼児期の遊びを通した学びは小学校の各教科等の学びにつながっているの?



ステップ3

授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている

ステップ4

接続を見通して編成・実施された教育課程について実施結果を踏まえ、更によりものとなるよう検討がおこなわれている

文部科学省(2024)
「令和5年度幼児教育実態調査」

現状

- ・幼稚園におけるステップ3、4の割合は24.8%
- ・幼保連携型認定こども園においては、32.4%



幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図る必要がある。



スタートカリキュラム期に大切にしたいこと

小学校の生活や学習を子どもたちが自分で創り出す

子どもたちから出された
質問を貼って見える化
していく

生活の見通しが立てれる
ように配慮する

安心して自己発揮できる
ように示しておく

4がつ12にち(きん)

あいさつ

すいとうはどうするの?

かえりのしたく

カエルをさがしたい

こうさく してみたい

きゅうしょく わくわく

たべるのたのしみ
にくじゃが

きゅうしょく どきどき

ぎゅうにゅう→へらす
→ひとくち
ちゃれんじ

子どもと一緒に生活の中身
を組み立てていく
枠の中は、心配なことも話し
合えるようにしている

弾力的な時間の活用

人前で話すことに緊張している。
話しやすい雰囲気や人の話を聞き
たくなる環境の工夫が必要だ。

幼児期は
環境が全て

低い机で頭と頭をつき合わせた
活動を取り入れる。
自然と会話も成立し、意欲的に
取り組む。



学びの羅針盤「ラーニング・コンパス」

OECD(経済協力開発機構)が2015年から議論を進めてきた「OECD Education2030プロジェクト」によって提唱された、
現代の子どもたちに必要な学びの指針

エージェンシー

自分の人生および周りの世界に対して良い方
向に影響を与える能力や意志を持つこと

生徒エージェンシー

ラーニング・コンパスを持つのは、子どもたち
(生徒)である。生徒は、教職員の指導や指示
に働きかけられるというよりも**自らが働きかける**
ことであり、型にはめ込まれるというよりも**自ら**
型を作ることであり、また他人の判断や選択に
左右させるといよりも**責任を持った判断や選**
択を行うことである。

世界を切り開いていくためには、どのような**知識、スキル、**
態度・価値が必要か。これらの問いに対するひとつの答え
として、ラーニング・コンパスが考案された



共同エージェンシー

生徒が共有された目標に向けて邁進できるように
支援する**保護者、教師、友達や仲間、コミュニティ**
との関わりは切り離せない。すべての人々がエー
ジェンシーを持ち、ウェルビーイングに向けて**相互**
にやり取りをし、**互いに支え合う関係**も重視される。

これからの時代を生きていく子どもたちは、
自ら人生を切り開いていくための**資質・能力**を育むことが、ますます重要となっていく



研修生の報告書より

5歳児担任

保育者が誘導したり提案したりすることが多いと感じている。
もっと子どもたち同士で話し、考え、決めていけるように工夫
していきたい。

小学校の授業内容について学ぶことができ参考になった。
環境づくり、子どもの思いを実現するために考え方の柔軟
性や勇気をもって取り組んでいきたい。

1年生担任

幼児教育と小学校教育のつながりの大切さを知った。子ど
もたちのやりたい気持ちを引き出すためには、学習環境を
整えることが大切であると気付いた。

「自分で考え、行動する力」を意識して指導していきたい。
生活科の学習で、経験を大切に気付いたことを学びにつな
げていく。